

生誕100年

愛宕

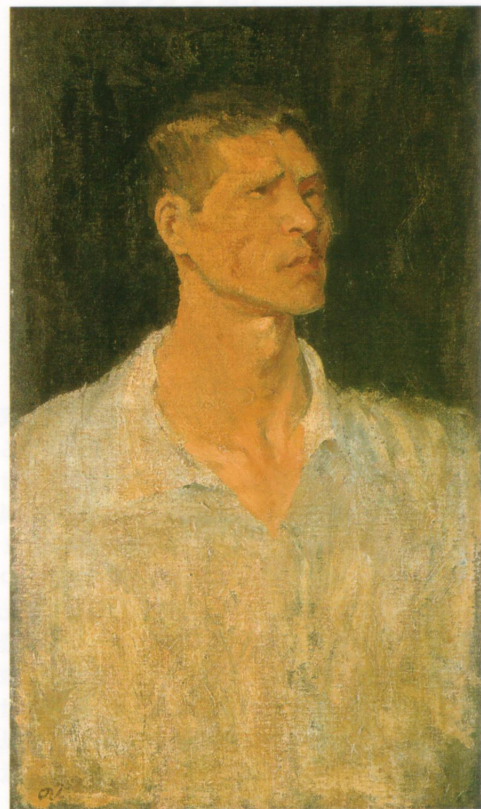
AI-MITSU

光

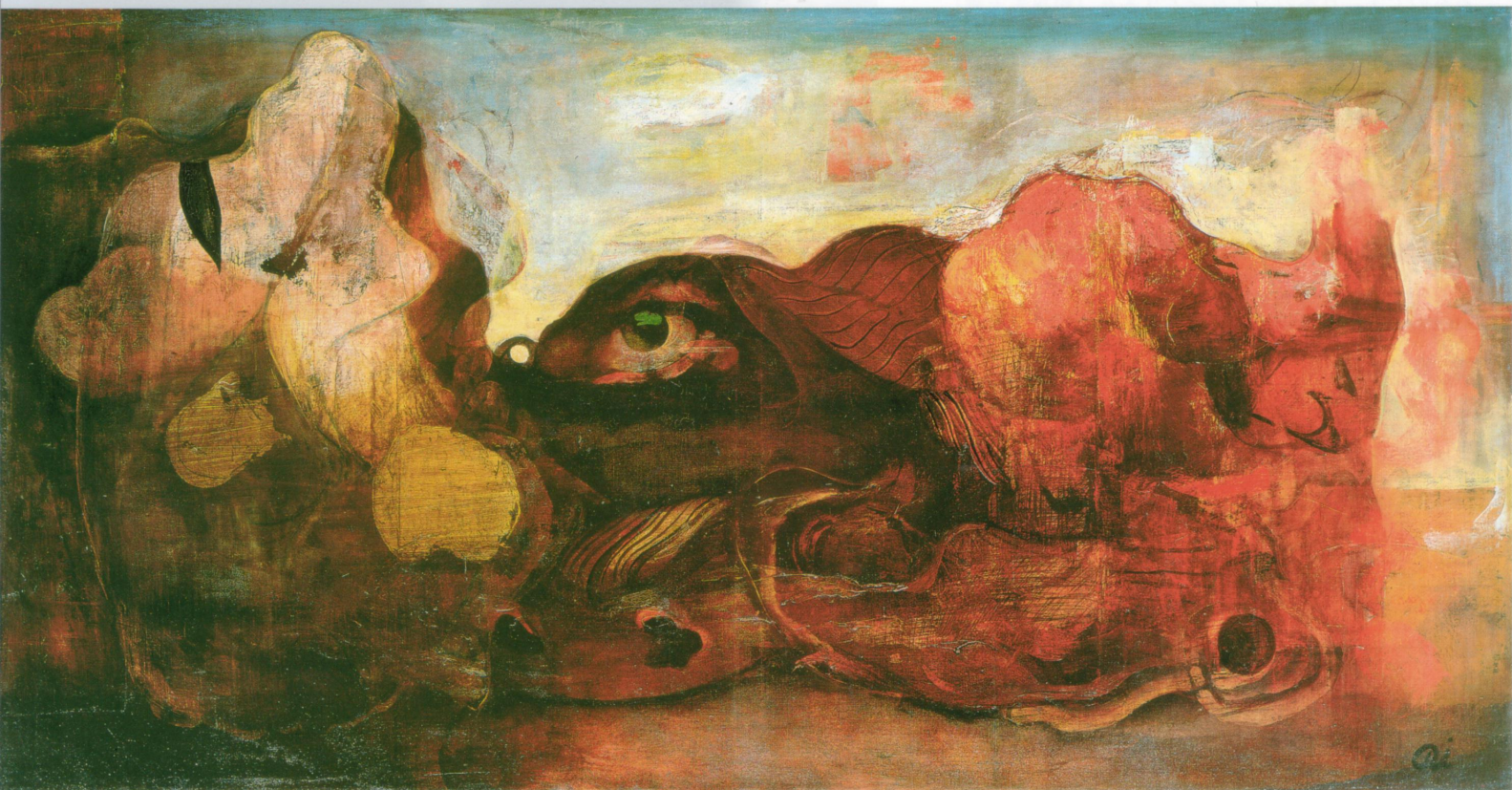
展



《梢のある自画像》1943(昭和18)年 東京藝術大学



《自画像【白衣の自画像】》1944(昭和19)年 東京国立近代美術館



《眼のある風景》1938(昭和13)年 東京国立近代美術館

2007.8.10 **金** ~ 10.8 **月祝**

休館日 月曜日(ただし9月17日・24日・10月8日は開館)
開館時間 9時~17時(土曜日は19時まで) 開会日は10時から
※入館は閉館の30分前まで

広島県立美術館

HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM
〒730-0014 広島市中区上輪町2-22
TEL 082-221-6246 FAX 082-223-1444
http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/

135 2007年2月21日
毎日新聞創刊135年

- 主催 / 広島県立美術館・毎日新聞社
 - 後援 / 北広島町・北広島町教育委員会・NHK広島放送局
中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島
広島エフエム放送・ひろしまPステーション76.6FM
エフエムふくやま・尾道エフエム放送
 - 特別協賛 / 新生銀行
 - 協賛 / 大日本印刷・毎日ビルディング
 - 入館料 / 一般 1,100円(800円)
高・大学生 700円(500円)
小・中学生 400円(200円)
- ※()内は前売及び20名以上の団体料金
※前売券は広島県立美術館、広島市・呉市の主なプレイガイド・画廊・画材店などで販売しています。

助成：

愛媛光

AI-MITSU 展

生誕一〇〇年

広島県北広島町出身の愛光（本名・石村日郎 1907・明治40-1946・昭和21）は、大正末から昭和の戦前・戦中期を通じて活躍した近代日本美術史を代表する画家です。画業初期にはヨーロッパの画家の影響を受けつつ自らの方向性を模索。やがて、絵肌や光、量感表現などの探求を経て、代表作《眼のある風景》を発表します。以後、鳥や虫、植物など現実世界の一端を描きつつ、対象の大きさや形、光を変容させ、現実を超えて愛光固有の空間に昇華させた静物画や、卓越した技巧と創造性を活かした細密画などを描き、ヨーロッパ絵画の模倣ではない、新たな境地を切り拓いていきます。とりわけ、最晩年に制作した油彩による自画像は、自己を鋭く見つめた画家の透徹したまなざしが生み出したもので、近代日本絵画の一つの到達点といつてよいでしょう。

このたびの展覧会は、画家の生誕100年を記念して開催するもので、約120点の絵画作品と、新出を含む資料により、初期から晩年までの画業の全貌を紹介するものです。日本のシュルレアリスム（超現実主義）の記念碑的作品といわれる《眼のある風景》や、同一会場に三点が揃うことが極めて稀な最晩年の自画像など代表作を網羅し、独創的で精神性の高い愛光の絵画世界を検証します。

■ 講演会（友の会共催）

日時：8月18日(土) 14:30～
 講師：江川佳秀（徳島県立近代美術館学芸課長）
 テーマ：「画家の良心-愛光の足跡をたどる」
 場所：県立美術館地階講堂
 ※聴講無料。申込不要（先着200名）

■ 美術講座

日時：9月8日(土) 14:30～
 講師：藤崎 綾（当館学芸員）
 テーマ：「愛光と広島」
 場所：県立美術館地階講堂
 ※聴講無料。申込不要（先着200名）

■ ギャラリートーク

日時：8月17日(金)・31日(金)・9月14日(金)・28日(金)
 各回11:00～ ※入館券が必要です。

■ ワークショップ

日時：8月19日(日)・26日(日) 各回9:30～12:00
 内容：アートカードを用いたゲームなどを通じて、作品を楽しく鑑賞します。
 ※プログラムの詳細は、当館ホームページを御覧ください。

対象：小学校高学年（保護者同伴）

参加方法：往復はがき往信面に住所・氏名・学年・電話番号・参加日時を、返信面に返信先を御記入の上、下記までお申し込みください。応募多数の場合は、抽選とさせていただきます（各回30組）。

※入館料（団体料金）が必要です。
 〒730-0014 広島市中区上城町2-22
 広島県立美術館「愛光展ワークショップ」係
 締め切り：7月31日(火)（当日消印有効）

■ 感想募集

内容：愛光作品の感想を募集します。詩や川柳、イラスト付きコメントなど記述形式は自由です。応募作品は会期中、展示室内に掲出します。みなさまの力作をお待ちしています！
 （応募用紙は、会期中、会場附近に設置しています。）

※会期中、一部作品の展示替えを行います。



《鳥》1942(昭和17)年頃 宮城県美術館



《蝶》1942(昭和17)年 東京国立近代美術館

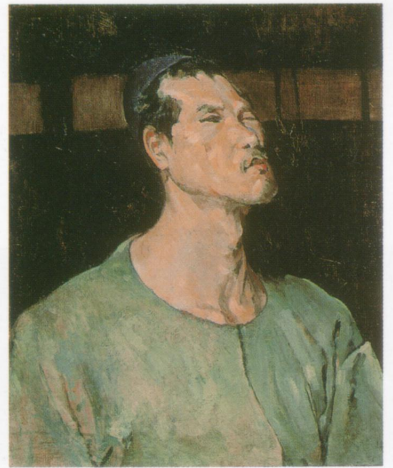


《二重像》1941(昭和16)年 広島県立美術館



○JR広島駅より約1km ○広島城より約400m
 ○市内電車（「八丁堀」乗り換え）白鳥線で「絵景園前」下車約20m

広島県立美術館
 HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM



《帽子をかむる自画像》1943(昭和18)年 広島県立美術館



《コミサ(洋傘による少女)》1929(昭和4)年 広島県立美術館



《縫み物をする女》1934(昭和9)年 愛知県美術館



《鬼あざみ》1933(昭和8)年